

# 御使いにまさる方

2024年3月3日

ヘブル人への手紙 1章4～9節

序：御子は (1)神の究極的で完全な啓示（旧約の時代は預言者によって部分に分けて）  
(2)万物の創造者（御子によって、御子のために）  
(3)神の栄光の輝き、神の本質の現れ（父と同質・同等）  
(4)創造の後も万物を統治、保持  
(5)罪人の贖いを成し遂げた（初臨） 謙卑  
(6)天に昇った（帰天） 高举  
(7)父の右の座に着いておられる

I. 御子イエス・キリストは御使いよりもすぐれている（卓越）  
御名（ご性質、ご存在）において  
御業において

- (1)父なる神から出た者（父によって生まれた）
- (2)御父と御子の関係（唯一無比）

II. 御使い

- (1)神によって創造された天的・霊的存在

御子は創造した方

- (2)御使いの長が神のようになろうとして神に反逆 = ルシファー  
↓ イザヤ 14・12～15  
悪魔（サタン）

御使いの三分の一が彼とともに墮落

↓ 悪霊 黙示録 12・2～4

∴神はサタンを創造したのではない

御使いを創造したが、一部が墮落 ⇒ 天から地に落とされた  
今は第一の天に住んでいる

よい御使いたちはずっと第三の天にいて、神に仕えている  
神に遣わされるところに行く

同じように人間も墮落した人間（罪人）として最初から創造されたのではなく、完全な聖い神のかたちに創造された、そして後に墮落して、エデンから追放された

- (3)この箇所で言及されている御使いは、墮落しなかったよい御使いである  
長子（御子イエス・キリスト）がこの世界に送られたとき  
御子の受肉、死、復活、昇天、（再臨）の全体的なこの世への介入時

①御使いは御子を礼拝せよ

② " 仕える者（風のように迅速、自由／炎のように熱心・忠実）

### Ⅲ. 御子

- (1)父なる神の御子
- (2)父と子の関係は不変（上下関係ではない、同質同等）
- (3)神 8、9 節
- (4)主 10 節

#### (1)神よ

ユダヤの王の婚礼の歌  
イエス・キリストにおいて成就した  
永遠の権威、公正な統治、正義を愛し、義を实践、不正を憎み、さばく  
あなたの神（父なる神）は豊かにあふれるばかりの喜びの香油を注ぎ祝福

あなたに並ぶ者たち（婚礼に招待された賓客）よりも多くの喜びと祝福  
聖徒たち

#### (2)主よ 以下は次回に

### Ⅳ. 結び

#### (1) 御子は御使いに勝る

||                      ||  
創造主              被造物

神                      しもべ、奉仕者

御子はわたし（神）の子と呼ばれる、しかし、御使いは子とは呼ばれない

御使いたちは平伏して神である御子を礼拝する

御使いたちは、御子のいっさいのこの世界での御業に関して終始仕える者

#### (2) 救われた罪人である私たちは神の子どもとされる（御使いにまさる身分）

御子は実子

聖徒は養子              とともに神の子ども、天の御国の共同相続人

#### (3) 新約の聖徒たちは教会（キリストの花嫁）

子羊（キリスト・花婿）と教会（花嫁）の婚宴の場に招かれる客は旧約時代の  
聖徒たちと患難期を通った聖徒たち

花婿なるキリストと花嫁である教会は、招待客に注がれる祝福以上の神の喜び  
と祝福の対象である

私たちに与えられた神の子という身分、身に余る光栄・祝福に感謝しよう  
贖いを信じ、契約がふさわしく正しく履行されて、私たちは神の子ども、  
終末においては、キリストの花嫁として迎えられる

その驚くべき恵みを再度覚え、輝く将来を仰ぎ見つつ、主の招いてくださる  
食卓（聖餐）に感謝と喜びをもって、あずかりましょう。